



3月定例会 主な内容

- 平成25年度当初予算 p 2~5
- 請願審査・意見書 p 6
- 広聴活動（津地自治会）..... p 7
- 一般質問（8人）..... p 8~15
- 特集コーナー p 16

若者定住、子育て支援、高齢者の施策を重点に 「きらりと光る」まちづくり継続

3月定例会



たたら高殿模型を展示する町公舎

第2回定例会は、3月6日に開会し、会期を3月22日までの17日間とし、平成25年度当初予算8件、平成24年度補正予算2件、条例の制定10件と一部改正8件、規約の変更1件、経費の賦課基準及び徴収の時期・方法1件、請願審査報告2件、意見書提出1件を原案のとおり可決し閉会しました。

一般会計予算は、前年比1割減の30億6,391万円となりました。

歳入の金額と割合を、下記の円グラフで表示しています。

地方交付税は、昨年同等額で歳入全体の6割です。

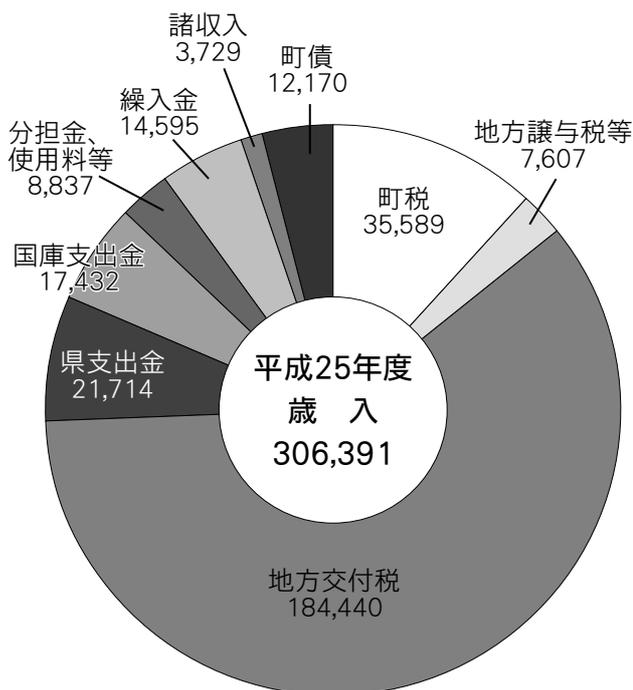
歳入の主な増減は、固定資産税が、国の配分枠で100万円の増額。地方譲与税等が、722万円の減額。国・県支出金が、717万円の増額。繰入金は、基金(預金)から財政調整基金2,367万円、減債基金1億1,311万、観光振興基金96万円、介護保険特別会計から900万円、などを繰入れます。

基金残高は、下記の表の通り15億3,880万円です。昨年度末より2億2,627万円増えました。

借入金返済のため、減債基金の大半を取り崩すので、今年度末は、基金合計残高は、13億7,500万円程度になる予定です。

地方債(借金)は、平成23年度より2億1,570万円減りました。当該年度末には、さらに3億円程度減る予定です。

歳入 単位：万円



平成24年度末 基金残高 単位：万円

基金区分	平成24年度末残高	基金区分	平成24年度末残高
財政調整	11億4,602	減債	1億6,012
地域振興	768	地域福祉	183
造林	1,205	建設機械整備	301
町営バス購入	2,503	観光事業	1,282
愛と元気の日野町ふるさと	641	木山義喬顕彰	75
土地開発	1,632	畜産振興事業	1,014
国民健康保険財政調整	1億1,002	介護給付費準備	2,655
合計		合計	15億3,880

平成24年度末 地方債(借金)残高見込み額 単位：万円

地方債(借金)	平成24年度末残高	地方債(借金)	平成24年度末残高	
一般会計	過疎対策事業	7億2,471	過疎対策事業	2億2,166
	臨時財政対策	12億3,050	簡易水道	5億9,807
	その他事業	4億 62	公共下水道事業	6億2,395
	市町村資金貸付金	5億9,500	農業集落排水事業	3億5,326
計	29億5,083	計	17億9,696	

各ページの金額は、全て千円未満を切り捨て表示していますので、合計に差違が生じます。

平成25年度
一般会計予算

30 億 6,391 万円

(前年当初予算比 3,201万円減 1位減)

単位：万円 △：減

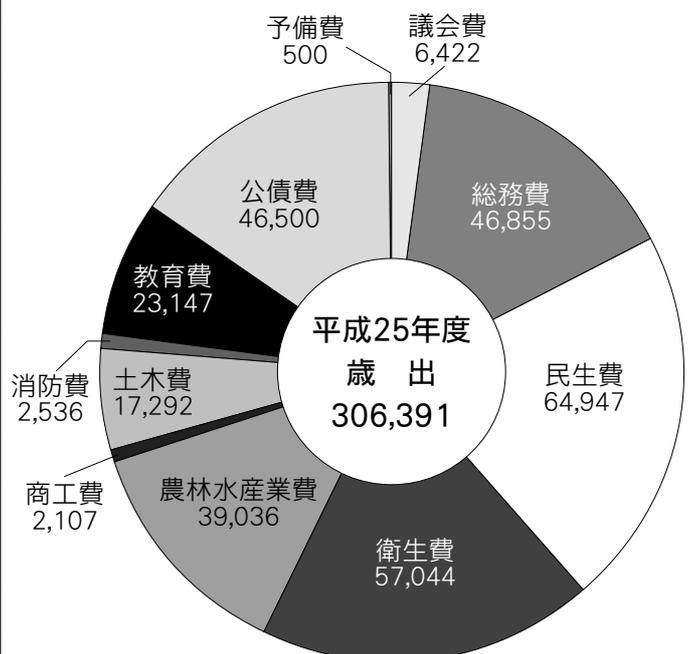
予算内訳	会計/区分	平成25年度当初予算	前年度当初予算	比較
一般会計		30億6,391	30億9,592	△3,201
特別会計	国民健康保険特別会計	3億9,537	4億998	△1,460
	介護保険特別会計	5億9,055	5億9,279	△224
	後期高齢者医療保険特別会計	5,464	5,446	18
	簡易水道特別会計	1億505	1億1,284	△779
	公共下水道事業特別会計	1億411	1億2,302	△1,890
	農業集落排水事業特別会計	7,404	6,917	486
	鳥取県西部町村情報公開・ 個人情報保護審査会特別会計	61	0	61
	計	13億2,439	13億6,228	△3,789
合計	43億8,830	44億5,821	△6,990	

下記の表は、歳出の目的別に区分名と金額を、円グラフで表しています。
 昨年度と比較して歳出の主な増減は、
 民生費 2724万円
 農林水産業費 1億6531万円
 消防費 1265万円
 の増額です。
 衛生費 4555万円
 商工費 620万円
 土木費 478万円
 教育費 1億3452万円
 公債費(借入返済金) 4872万円
 の減額となりました。
 歳出予算性質別集計表は、人件費、扶助費、公債費などの支出が義務づけられ、任意に削減できない義務的経費をいいます。
 建設事業費など、その支出の効果が将来に残るものに支出される経費を投資的経費といえます。
 「義務的経費」や「投資的経費」、「その他経費(予備費)」を除いた経常的に支出される物件費などの経費を一般行政費といえます。

平成25年度一般会計歳出予算性質別集計 単位：万円

科目	本年度	前年度(当初)	比較
人件費	5億9,328	5億6,980	2,347
物件費	3億174	2億9,626	547
維持補修費	3,398	4,288	△889
扶助費	2億8,912	2億5,977	2,934
補助費	7億6,037	6億8,615	7,422
普通建設事業費	2億429	2億9,383	△8,953
公債費	4億6,500	5億1,372	△4,872
積立金	162	120	42
投資及び出資金	700	0	700
貸付金	1,550	2,050	△500
繰出金	3億8,697	4億678	△1,980
予備費	500	500	0
合計	30億6,391	30億9,592	△3,201

歳出 単位：万円



主な質疑

○高殿収蔵展示庫について
議員 中に入れる高殿は町の財産ですか。町の財産でないものを入れる建物なら将来はどうなりますか。

町長 高殿はたたら顕彰会のもので、建物はずっと使われるものと思っています。次の活用方法は考えていません。覚書を取り交わし、貸付を行います。

○黒谷線改良工事について
議員 道路新設改良費の考え

課長 36戸中、現在空き家は2ヶ所、これももうまる予定です。改良住宅は老朽化が著しく、売却しながら、新たに入居者は募集しません。

○学校給食センターについて
議員 人材確保も大変難しくなり、プロポーザル方式で委託先を決めました。4月執行への準備、条件等の状況は、

課長 スムーズに始められるよう調整しています。研修、ミーティング等、事故のないよう調整している。人員の確保はできていると聞いています。

○ラフティングについて
議員 管理運営について、D.Oスポーツに迷惑がかららないような指定管理にしませんか。

町長 備品を貸し出し、運営も全部やっております。指定管理については検討します。

○社会体育館について
議員 雨漏りも起きているが予算化していますか。壊す方向ですか。

町長 とりあえず回避処置はしました。老朽化の激しい施設の一つで、教育委員会とも話しつつあるが、いつかは、解体せざるを得ないと思います。事故のないよう立ち入り制限をし、利用者にその旨を伝えておくようにしました。

○消防ホース助成について
議員 小屋などの整備は含まれませんか。

課長 現在予定しているのは、消防ホース、筒先及び収納ボックスです。

平成25年度 主な歳出 単位：万円

地域防災計画策定	地震対策編、原子力災害対策編	210
移動販売車事業者補助	移動販売を行う経費補助	80
日野町公舎庭改修	公舎左側の庭の改修	155
日野町公舎たたら高殿 模型収蔵室整備	公舎裏側にたたら高殿模型を 収蔵保管する収蔵室を整備	440
消防用施設等整備費補助	消防ホース等購入補助	25
地域自立支援事業	住民による地域活性化のための 活動交付金 上限20万円	200
生活交通確保支援	タクシーの運賃補助	300
わが町支え愛活動支援	見守り体制の構築、個別避難訓練等 支え愛活動を行う自治会への 交付金 1地区10万円上限	25
子育て支援	1歳から3歳まで支援金3万円	120
児童手当	中学修了前まで子育て支援	3,300
中山間地直接支払交付金	農業維持・農地保全など	4,688
新規就農支援給付金	新規就農者 年間150万円を支給 最大5年間	300
橋梁修繕	野田橋歩道橋の修繕	1,402
町道黒谷2号線改良	榎市から小原 2カ年計画で 6カ所の改良 本年度分	1,980
学校図書館司書配置	保小中学校と図書館連携	468
外国語指導助手配置	外国語教育の充実	513
放課後子ども教室	安全・安心な居場所支援	614
町民ミュージカル補助	歴史文化を題材	50
学校給食センター調理等委託	調理・配送を民間委託	1,297
文化センターエレベーター	休止していたエレベーターを再稼働	326
社会福祉協議会補助	高齢者支援等	846
児童扶養手当支給	ひとり親家庭に、児童扶養手当	1,009
日野病院組合事務	日野病院運営支援	3億5,294

■は新規事業

平成25年度特別会計主な歳出

国民健康保険	保険給付費2億7167万円
後期高齢者支援金等	4400万円
介護納付金	2000万円
共同事業拠出金	5000万円
保健事業費	476万円
介護保険	476万円
保険給付費	5億7064万円
地域支援事業費	1485万円
後期高齢者医療保険	5317万円
納付金	5317万円
簡易水道	7848万円
公債費	7848万円
公共下水道事業	7324万円
公債費	7324万円
農業集落排水事業	4815万円
公債費	4815万円
(公債費は借入返済金)	
鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会	55万円
総務費	55万円



日野川でのラフティング

条例の制定及び改正

○日野町暴力団排除条例の制定

日野町から暴力団の排除を推進するため、基本理念を定めることにより、安全で平穏な町民生活と町における社会活動の健全な発展に寄与することを目的に条例を制定

○町長、副町長、固定資産評価員及び教育長の給与の特例に関する条例の一部改正

給与を減ずる特例措置を更に1年間延長するもの

○日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正

国内旅行に係る日当を支給しないようにするための期間を1年間延長するもの

○鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計条例の制定

西部町村合同で設置する審査会運営のための特別会計設置です。

○日野町特別医療費助成条例の一部改正

障害者自立支援法の名称変更及び一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

○日野町職員等の給与に関する条例の一部改正

○日野町道路占用料徴収条例の一部改正

全員賛成で可決しました。

○日野町健康福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

採決は6ページの採決表をご覧ください。

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(地域主権一括法)の施行に伴う関係条例についての所要の改正を行うもの

○日野町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正

日野町財産の譲渡等について、現行の地方公共団体に国を追加するもの

○日野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

○日野町指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定

○日野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

○日野町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正

○日野町道の構造の技術的基準に関する条例の制定

○日野町道に設ける道路標識の寸法に関する条例の制定

○日野町移動等円滑化のため必要な町道の構造基準に関

主に事業確定等に伴う減額と寄付金による増額等	
会計名	補正後の予算額 (補正額)
一般会計	33億2,134万円 (△1,141万円)
介護保険特別会計	6億402万円 (科目振替の為、増減はなし。)

平成24年度補正予算

補正の主な内容

- 日野町公舎の庭に高殿模型収蔵庫の設計委託料 55万円
- 根雨小学校耐震工事費請負減 減額1550万円
- 愛と元気の日野町ふるさと基金積立金 積立金52万円
- (財源は、ふるさと納税寄附金)
- 観光事業基金 積立金360万円
- (財源は、日野町観光協会からの寄附金)
- 全員賛成で可決しました。

する条例の制定

○日野町営住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

○日野町営住宅等整備の基準に関する条例の制定

○日野町下水道条例の一部改正

○日野町水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定

○鳥取県日野地区連携・共同協議会規約の変更

県の組織替え(総合事務所体制)の見直しに伴い、事務所所在地及び幹事会の設置

条例制定、一部改正など、いずれの議案も全員賛成で可決しました。

本郷井出改修工事に事業費の15%相当額を受益者に賦課

下菅水路改修工事に事業費の20%相当額を受益者に賦課

徴収の時期は、平成26年3月31日限り

請願審査

●安倍内閣にTPP（環太平洋
 洋連携協定）への参加断念を
 求める意見書の提出を求める
 請願

趣旨採択

（理由）

TPPに参加することになれば、わが国の一時産業の受ける影響が多大と予測されるが、オバマ大統領との日米首脳会談が行われ、TPP交渉参加に際し、「あらかじめすべての関税撤廃の約束を求められない」ことを確認され、

政府は交渉参加を正式に決定した。このような状況に鑑み、趣旨採択とした。

●「生活保護基準の引き下げをしないこと」の意見書提出を国に求める請願書

趣旨採択

（理由）

国民生活の最低保護基準は満たされなければならないが、一方で国民年金を掛けて受給する額より生活保護費が高く、勤労意欲を削ぐものであり、趣旨採択とした。



心配される和牛経営

反対討論 佐々木 求議員

根拠法がないのに、2000万円近くの同和関連予算が計上されています。その責任が、県にもあることは否めません。

しかし、最後の砦としての自治体である町が、依然としてこういう支出を行うことは、納得できません。

いろいろ問題はあるが、同和関連の支出は、一番根本的な無駄な支出であることを指摘し反対討論とします。

意見書

議員発議により意見書1件を、内閣総理大臣、農林水産大臣に提出しました。

◎安倍内閣にTPP（環太平洋洋連携協定）への参加にあたり聖域と国益を守ることを求める意見書

TPP交渉参加にあたり、聖域の確保を最優先し、国益を守ることができない場合は、直ちに離脱すること。

いずれも全員賛成で可決しました。

平成25年度一般会計討論

賛成討論 中原 信男議員

地方交付税の削減が予想される中、民生費等前年より増額となっていますが、子育て、福祉に重点を置いたものです。農林水産業費も大幅に増えています。要因は繰上げ償還に伴うものです。将来負担率の引き下げ等を目的としたものです。以上の観点から賛成の討論とします。

議案番号	採決の状況 一覧表	竹永明文	中原明	佐々木求	安達幸博	小谷博徳	松原直人	松本利秋	中原信男	梅林智子
26	平成25年度日野町一般会計	欠	○	×	○	○	○	○	○	○
35	日野町健康福祉センターの位置及び管理条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○印は、賛成者 ×印は、反対者 欠印は、欠席

津地自治会と意見交換会

日野町議会は、議会改革の一環として、読みやすい広報紙づくりと共に「出かける議会」に力を入れようと話し合いを進めてまいりました。昨年秋より、その取り組み

の一つとして広聴活動を行うため、町内で活動しているグループや集落に出かけていき町民の皆様のお考えやご意見を聴き、合わせて議会側より「常任委員会」が取り組んで

いる活動や議会の動きなどを報告して、少しでも議会活動が町民皆さんの目に見える形にしようと、町の広報紙、議会日より、行政無線で皆様方に開催希望の募集を呼びかけていきました。

なかなか開催希望の申し出が無く、対策を模索していた中、津地自治会より意見交換会の申し出があり、議会側としてもありがたく、申し出を

頂いた自治会に深く感謝をいたしました。

意見交換会の主な内容は、議会側より

総務経済・教育民生常任委員会の最近の取り組み、議会広報調査特別委員会から議会だより作成状況などの取り組み、議会運営委員会から議会改革などの報告をしました。

津地自治会からは、

高齢化する中での日野町農林振興公社の役割と方向性、人口減少に対する地域の不安とその対策

不在地主への対応（家屋・荒廃農地）

各種補助金の事務担当者の設置はどうか

日野川増水と保育所の避難体制の取り組み

独居高齢者宅の家周りの除雪方法の有り方など実態をお聞きしました。

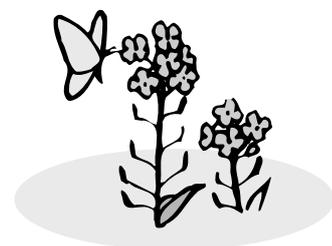
これは、集落全戸にアンケート調査をされたもので、地域の課題を集約、町への提案としてお聞きしました。

町執行部にも同じ内容の要望書が提出されていて、町側の回答を踏まえて意見交換をしました。

意見交換会を終えて

今回実施した意見交換会で出された内容について、議会としても正式に要望を受けた取扱いとして、各常任委員会で調査検討を行い、後日回答することを申し上げました。

議会活動が、身近に感じていただけるように「出かける議会」を掲げ、これからも議員一同邁進していく所存です。これを機に、集落・グループ等、気軽に意見交換会の申し込みをお待ちしています。



津地自治会と意見交換会

